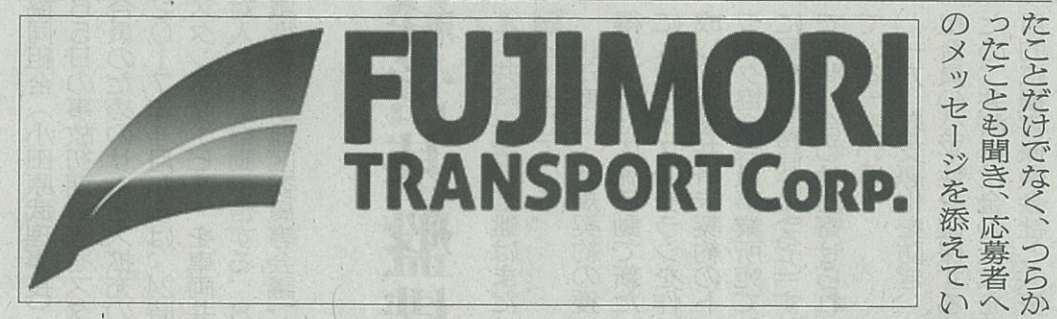


# 藤森運輸 ■55周年 企業イメージアップへ HP刷新 & 新ロゴ導入

【岡山】藤森運輸(藤森元則社長、岡山県倉敷市)は創立55周年の一環として、ホームページ(HP)を刷新するとともに新たなロゴマークを導入した。HPはスマートフォン(スマホ)対応にして人材募集を前面に打ち出している。また、1日から、新ユニホームを採用した。企業イメージをアップさせることで若くて優秀な従業員を確保し、更なる会社発展を目指す。



HPは7月からリニューアルしており、採用ツールとしての役割を重視。ドライバー志望者の情報収集に役立つようにスマホ、パソコンの双方で見やすいデザインを心掛けた。リクルートのページでは、求める人材、現役社員のインタビュー、応募要項を掲載。現役社員には仕事でうれしかったことだけでなく、つらかったことも聞き、応募者へいよう、すぐに対応できる体制も整えた。

HPのデザインは、情報量を増やすだけでなく、閲覧者が写真を見やすいよう配慮。本社を含めて県内に6カ所ある事業所は、ドローン(小型無人機)を使って上空から撮影した。藤森社長は「HPを経由した応募が既に来ており、効果が表れ始めている」と手応えを感じている。一方、ロゴマークは、創業の地である倉敷市児島の海をイメージした青色を基調に水平線から空までをグラデーションで表現。アルファベットのFをモチーフに、実直な姿勢と歴史の重み、躍動感を表現し、一日の始まりや未来を連想できるデザインにした。既に全事業所の看板や86台の保有車両に新ロゴを使っている。

このほか、ペーパー版の会社案内も刷新。トラック型に切り抜いたポケットに項目ごとの資料を挟み込むタイプにし、シンプルなデザインにした。同社は1958年創業、62年設立で、運送・倉庫業を手掛け、着実に業績を伸ばしてきた。倉敷市との協働の森事業「ふじの森」を実施するなどCSR(企業の社会的責任)活動にも積極的なほか、労働条件の改善にも取り組み、従業員の定着率は高い。

55周年事業として他に、地元の観光PRに貢献するため、倉敷美観地区などのラッピングトラックを検討中。また、11月5日には、ゴルフクラブ(玉野市)で得意先や従業員の参加による記念コンペも予定している。東児が丘マリンヒルズ(江藤和博)

## 新ユニホーム採用 反射材で安全性向上

【岡山】藤森運輸(藤森元則社長、岡山県倉敷市)は1日から、新しいユニホームを採用した。ドライバー用と管理者用の2種類あり、いずれも全アイテムに反射材(パ



藤森運輸

反射材で安全性向上  
ドライバー用のニットシャツは、さわやかなひし形のアーガイルデザインが特徴。また、ブルゾンには、襟を立てても寝かせても着用できる2ウェイ式で、袖は腕の上げ下げがスムーズな仕様にして作業性をアップさせた。冬は内側にインナーベストを取り付けることができる。

管理者用のニットシャツは、ネクタイを着用しているように見える前立てがポイント。ボタンダウンの襟と合わせてきつちりした印象を与え、長袖の袖口はカフス仕様になっている。(江藤和博)

(左から)ドライバー用(ブルゾン着用)、管理者用